



久しぶりの汽笛に 全校でエール！

校長 田邊裕一

今年も、「豊かにかかわり 共に伸びる子」の教育目標に向かい、

- ① 日々の授業の充実
- ② 支持的風土を意識した人間関係づくりの充実
- ③ 地域連携・地域貢献活動の充実

の3本柱に取り組みます。ただ、新型コロナウイルス禍の「新しい生活様式」の中で、地域連携・地域貢献活動を進めることはとても難しい状況です。各学年とも工夫しながら、できる範囲で進めていくしかありません。

このような中、久しぶりに明るい話題がありましたので、紹介します。

6月30日、C57-180号機が試運転のため走行することとなりました。この知らせを受け、当日、全校児童で見送りをすることにしました。また、同日に5年生はJR新津駅の職員の方々から、エコの取組を学ぶ授業をしていただきました。私たちが知らなかったエネルギー再利用の取組等を学びました。

さて、10時5分、予定どおりC57-180号機は新津駅を出発。大きな汽笛を何度も何度も響かせ、近付いてきます。全校児童は、久しぶりの勇姿を見るためにグラウンドに集まり、一小の大先輩※であるSLに大きな、大きな声援を送りました。SLもそれに応えるように、後輩たちに一層大きな汽笛を返してくれました。励まし、勇気付けられる瞬間です。



大きな汽笛で児童の声援に応えるSL

当日は、夏目区長さん、神田駅長さんほか、オコジロウやきてきちなど、馴染みのキャラクターも駆けつけ、見送りを盛り上げてくれました。

これからも様々な地域資源から学び、地域を盛り上げる活動を通して地域を愛する子どもの育成を目指します。

※ SL C57-180は、鉄道のまち新津のシンボルとして、昭和44年から新津第一小学校の前庭に約30年間大切に保存されていた車両です。子どもたちにとっては、大きな先輩のような存在です。

豊かなかかわりで伸びていく子どもたち

わかば学級担任 大谷 良美

通常の登校が再開されて1か月が過ぎました。わかば学級の子どもたちも友達と一緒に活動できる喜びを味わい、「新しい生活様式」に気を付けながら、いろいろな学習や活動に張り切って取り組んでいます。

わかば学級では、様々な活動を通して人や自然と豊かなかかわりをもちながら、一人一人の良さや力を伸ばしていくことを目指しています。子どもたちは学校生活を通して友達やいろいろな人たちとかかわりながら、支え合い協力し合っってともに成長していきます。

先日はSLが校舎脇の線路を走り抜け、全校の子どもたちが手を振って見送りました。わかば学級の子どもたちも交流学級・学年の友達と一緒に、笑顔と歓声でSLの力強い勇姿に手を振り、一緒に感動を味わっていました。

これからの活動や行事で、一人一人が協力して役割を果たしたり、目標をもって新しいことにチャレンジしたりする中で、「仲良く楽しく頑張ったよ!」「一緒に最後までやり通したよ!」と自信を付けていく姿を大切にしていきたいと思います。

また、畑で野菜の苗を植え育てる活動を通して、子どもたちは植物の生長や実りに驚いたり感動したりしています。自分で選んで苗を植えた夏野菜が収穫の時期を迎えました。「大きいなあ!」



「お母さん、喜んでくれるかな?」と嬉しそうに声を挙げてキュウリやナスなどを採っています。秋のサツマイモの収穫も楽しみです。

【お知らせ】教育広報誌「かけはし」について

新潟県教育委員会が発行している広報誌「かけはし」が、今年度より電子配信となりました。下記のURL、または「新潟県 教育広報誌 かけはし」で検索すると、掲載先にたどり着くことができます。ぜひご覧ください。

《掲載先URL》

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/1191169877149.html>

